



## 【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：ニツ井総合体育館(Cコート)	記入者：高橋 朋幸，小松 和典	
チームA 白河中央 (福島1位)	13 - 8 16 - 2 17 - 2 9 - 9	チームB 桜丘 (宮城2位)

スターター	チームA： #4, #5, #10, #11, #12
	チームB： #4, #5, #6, #7, #12
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン ( 3-2 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1ピリオド、白河中央のマンツーマンに対して、桜丘は3-2ゾーン。立ち上がり白河中央は、ショットに固さが見られたものの、積極的なディフェンスでスティールをねらい、#11 遠藤の速攻や#10 齋藤のリバウンドショットなどで得点を重ねる。一方桜丘は、#4 渡部の3Pや#6 伊藤の1対1で得点し、白河中央13-8桜丘で第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド、白河中央の勢いは止まらず、#10 齋藤のジャンプショットやリバウンドショット、#11 遠藤のスティールからの速攻などで16得点。一方桜丘は、白河中央の厳しいディフェンスに苦しみ、#6 伊藤のインサイドでの2得点にとどまり、白河中央29-10桜丘と引き離され、前半を終了する。

第3ピリオド、巻き返しを図りたい桜丘は#4 渡部、#6 伊藤を中心に得点を狙うものの、インサイドへのパスが通らず、逆に相手の速攻となる。白河中央は#10 齋藤や#12 矢上のアウトサイドからのショットが決まり始める。また、速いパス回しからチャンスを作り、#10 齋藤のジャンプショットや#4 高田のスティールからの速攻で着実に得点を伸ばし、白河中央46-12桜丘とする。

第4ピリオド、桜丘は#5 草薙のインサイドでの得点、#8 黒田の3P、#7中村の1対1やフリースローで得点する。しかし、白河中央は#6 井澤の3Pや#16 丹治のミドルショットでさらに得点を重ね、白河中央55-21桜丘で試合終了。終始機動力を生かして積極的なディフェンスをし、速いパス回しでチャンスを作り続けた白河中央がメンバー全員をコートに出場させ、予選リーグ勝目を上げた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。